

R5 本部事業報告

事業	項目	期日・内容・参加者等		
		会議等	役員会 4/4、5/1、5/8、7/10、9/20、1/10、 2/15 3/11 補助金説明会 4/18 総会 5/17 会計監査1/10 及び 3/29	
① 組織運営	渉外	期日	内容	場所
		4/8	岩滝小学校入学式	岩滝小学校
		4/26	東山校区学校運営協議会 第1回岩滝小部会	岩滝小学校
		5/8	東山校区学校運営協議会 第1回東山中部会	東山中学校
		6/14	東山校区学校運営協議会 第1回全体会	東小学校
		6/17	東山校区学校運営協議会 第2回岩滝小部会	岩滝小学校
		6/23	岩滝小PTA懇親会	岩滝荘
		7/4	岩滝小地区懇談会	岩滝小学校
		7/11	岩滝地区大運動会運営委員会	岩滝小学校
		7/21	第1回高山市協働のまちづくり推進会議	高山市役所
		8/1	第1回岩滝小未来を語る会実行委員会	岩滝小学校
		9/5	第2回高山市協働のまちづくり推進会議	高山市役所
		10/24	第2回岩滝小未来を語る会実行委員会	岩滝小学校
		11/28	第3回岩滝小未来を語る会実行委員会	岩滝小学校
		12/10	東山校区学校運営協議会 第3回岩滝小部会	岩滝小学校
		12/10	東山校区つながりの会「郷土の未来を語る会」	岩滝小学校
		1/22	第4回岩滝小未来を語る会実行委員会	岩滝小学校
		1/29	岩滝小閉校及び東小への編入に関する提言書を提出	高山市役所
		2/29	東山校区学校運営協議会 第2回東山中部会	東山中学校
		3/5	東山校区学校運営協議会 第2回全体会	東小学校
3/22	岩滝小学校卒業式	岩滝小学校		
3/25	岩滝小学校PTA送別会	信田		
3/28	岩滝連合町内会会計監査	岩滝荘		
3/29	岩滝地区連合長寿会総会	岩滝荘		
	岩滝の情報発信	広報を発行した。 ホーページ作成および全ての管理は元田吉弘氏に委託し、更新していただいた。		
	教養講座・各種講座開催	希望に応じて開催する予定だったが、希望無し。 （女性部が岩滝の文化伝承を企画し、岩滝やんさ・少ヶ野踊りの講習会を行った）		
	ささゆり号活用と、地域の見回り	ささゆり号の貸し出し希望者は無かった。 高齢者や地域の見回りを兼ねて、文書配布は事務局長が岩滝全域をささゆり号で巡回して配布した。		
	棚田・希少植物・景勝地	棚田・ささゆり群生地・花街道の景観保存に努めた。		

本 部	② 地域振興 に関わる 事業	保存	6/1 ささゆり群生地に電柵設置 6月 岩井城の草刈り 7~8月 棚田草刈り委託 9月 ささゆり群生地および植樹桜の周囲の草刈り委託 12/3 桶岩に新しいしめ縄を作り飾り付けた。
		地域ふれあい活動支援	8/ 3 ふれあいグラウンドを長寿会グラウンドゴルフ場にするため業者委託して整地した。 森の音楽会はコロナの影響がまだみられるため、今年度は実施しなかった。
		他機関との連携協力	○町内活動への支援 ・防犯灯39灯の電気料金を支援した。 ・自治会活動保険に加入した。まち協とその加入団体の活動での怪我や事故、賠償責任に対する保険に加入した。 万一事務発生の場合は まち協へ連絡を。 ・消防団ポンプ庫の電話代を助成した。 ・連合町内会としてウルトラマラソンの応援をするため、まち協として看板作成に協力した。 ・高齢者の健康教室をはじめ公民館活動を支援するため、公民館の灯油代を助成した。 ○市への要望 5/23 情報提供書現地視察 (市維持課・交安・町内会長 立会い) 今年度の要望箇所は、全38ヶ所。 未実施のものは来年度も継続して要望する。 ○東山中への連携協力、 6/28 東山中より「郷土の未来を語る会」に協力依頼 8/20 町内会長と中学生の懇談会 (郷土の未来を語る会の懇談テーマについて) 10/24 郷土の未来を語る会打合せ会 12/10 郷土の未来を語る会 岩滝小にて ○国立乗鞍青少年交流の家事業協力 交流の家が行う事業「星座教室」に、地元として協力した。 講師：事務局長。 5/5 6/8 6/29 7/12 7/15 9/13 9/28 計7回
花いっぱい支援 花いっぱい支援 ・花壇コンクール開催	5/30 花壇用肥料配布 6/14 花苗配布(市からの苗を長寿会・班へ) 6/25 希望者に花苗配布 1回目 7/ 2 希望者に花苗配布 2回目 8/20 花壇コンクール審査 9/10 運動会にて表彰 団体花壇の部 ①滝長寿会 ②生井長寿会 ③滝1班		
③			

本 部	美しい岩 滝づくり 事業		個人花壇の部 ①塚本正和 ②砂田義則 ③溝下孝司 10/14 来春用チューリップ球根配布
		花街道整備 ・街道に花樹の植樹	荘川桜・ソメイヨシノ桜周囲の草刈りを行った。 3/31 これまでの植樹の傷んだところ10か所の桜の植替えを行った。 品種：吉野桜 2m苗 10本 つるが巻き付いて枝が折れるのを防ぐため今後も周囲の草刈りは続けていく必要がある。(とくに苗が小さいうちは)
	④ 地域再発 見事業	第8回 フォトコンテスト開催	11/20 フォトコンテスト応募〆切 応募総数99点 11/28 審査会 審査員5名 11/30 審査結果発表と通知
		テーマ 岩滝の魅力再発見	12/1 丹生川から展示パネル借用 12/7~9 岩滝公民館に作品展示 12/9 表彰式 12/10~17 エブリ東山店に作品展示 12/18~1/19 高信三福寺店に作品展示
	⑤ 団体活動 補助金支 援事業	子ども会活動補助金	1年生を迎える会 11/26 子ども会研修視察旅行(名古屋市科学館) 3/28 3年生を送る会
		P T A活動補助金	棚田活動・寺子屋・雪上運動会・親子スキー教室などP T A活動へ補助した。 寺子屋は7/21~8/23のうち20日間実施。 このうち9日間は外部講師を招いての体験学習を行った。
		長寿会活動補助金	8/28 ふれあいグラウンド整地で土入れ作業 10/15、12/1、2/15グラウンドゴルフ大会開催 10/6 大八岩滝交流グラウンドゴルフ大会 11/7 長寿会研修視察旅行 関ヶ原古戦場記念館 12/3 桶岩しめ縄作り協力
		青年団活動補助金	夏祭りを青年団が中心となって開催した。 開催に向けて4月~7月に10回の打合せ会と準備を行った。 7/29 岩滝夏祭り 参加者約250人 7/30 // 片付け
		獣害対策補助金	イノシシをはじめ田畑を荒らす動物の狩猟に携わる皆様に補助金(猟友会会費分)を支援した。対象：4名
		女性部活動補助金	2/10岩滝の文化伝承会開催。 「岩滝やんさ」「少ヶ野踊り」伝承のため岩井公民館で講習会を行った。 講師：ささゆり鳳の会 参加者22名
サークル活動補助金		サークル活動(ささゆり鳳の会)に講師料の一部を補助	
<p><反省・申し送り></p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の重点とした「災害に強い岩滝」については、豪雨土砂災害発生を想定した岩滝全域防災訓練を実施し、安全な避難を目的にした訓練ができた。 また、防災備品・用品を購入して避難所となる岩滝小学校体育館および地区公民館の災害対策物品 			

を充実できた。(今年度1,206,830円)

さらに災害への備えとして、今後も防災備品・用品購入予算を計上して充実をはかる必要がある。

とくに1月1日の能登半島地震を教訓に「地震」への備えということも加味して考えたい。岩滝へ高山・大原断層の端にあたる江名子断層がのびており、直下型地震が想定されているため。

- 青年団主催の夏祭りは大勢の方に参加してもらい盛況だった。今後も青年団のパワーに期待したい。

「青年団としてみんなのためにできる活動をしていきたい」という意向に沿って、青年団の希望を取り入れながら来年度も補助金を予算化する。

- 女性部が自ら岩滝の文化伝承を取り上げて岩滝やんさ・少ヶ野踊りを希望者を募って講習する場を持てたのは良かった。女性部に限らず、地域のためになるような希望があれば補助金を出して支援する。

- 花壇づくりは労力がかかるということで、来年度は花壇をやめる班がいくつかでてきた。もし個人で花壇の世話をしたいという方があれば、花苗を手配するのでぜひお願いしたい。

個人で花苗がほしい方という方には、来年度も希望者へ配布する日をお知らせするのでどうぞお持ちください。

- 事務局長の交代について

来年度いっぱい木谷事務局長が退職するので、後任を来年度中に募集する。

R5 防災対策部事業報告

事業	項目	期日・内容・参加者等
① 防災会議 開催	防災会議開催	4/11 今年度の防災対策について事業計画・予算案 6/6 ①防災学習（防災情報の見方と対処について） ②避難所開設の仕方と、開設の準備について 9/26 岩滝全域防災訓練の内容、方法等について 10/28 岩滝全域防災訓練について詳細の再確認 11/12 岩滝全域防災訓練 11/27 岩滝全域防災訓練の反省と次回への課題 来年度の事業計画 3/6 能登半島地震災害から「学び、活かすために」 会議の様子をCBCテレビ取材
② 岩滝全域 防災訓練 の実施	第2回岩滝全域防災訓練 11/12（日） 参加者約100名	目標「豪雨による土砂崩れから住民全ての命を守る」 ・開始時刻を明記せず「朝」開始する。 ・第1次避難所となる公民館へ安全に早く避難する。 ・防災リュックを事前準備しておき、それを持って避難する。 ・防災倉庫に備蓄した防災備品と用品の使い方を学ぶ。 ・役員は避難者の受け入れ態勢を確実に
③ 防災備品 ・用品の整 備	備品・用品を計画的に購 入し災害に備える ※これまでに整備した備 品・用品リストがあるの で、詳細はそちらを参照 。	○方針 ・岩滝小避難所は、主に夏季の豪雨土砂災害に対応できるよう 整備する。（大人数を最低2日間宿泊受け入れと・プライバシー 対策・暑さ対策・蚊対策・屋根雨音対策） ・各公民館は主に冬期の停電に対応できるよう整備する。（寒 さ対策・停電対策の充実） ○購入したもの 備品 1. 定温保冷库 3台（各公民館に設置） 2. だるま石油ストーブ 3台（各公民館に設置） 3. カセットガス発電機 3台（各公民館に設置） 4. 大型扇風機 3台（岩滝小避難場用） 用品 防災用敷きマット、プライバシーシート、保存水、 防災用毛布、カセットガスボンベ、蚊取り線香、 使い捨て耳栓 計1,206,830円
<反省・申し送り> ・昨年度につづき第2回目の岩滝全域防災訓練を実施した。 「全員の命を守る」ため、避難所となる岩滝小や公民館での受け入れについて会議を重ね準備した。 名簿でチェックし避難できていない人への連絡と救助、地図上に書き込みながら危険個所のチェ ック、消防団や市との連絡など役員としての動きも確認しながら良い訓練となった。		

- ・7月8日を岩滝地区防災の日としているが、毎年役員が交替するなかで4～6月のうちに訓練し災害に備えることはなかなか難しい。今後も毎年訓練を繰り返しながら、安全な避難ができるようにしていかなければならない。

また、豪雨による土砂災害ばかりでなく、1/1能登半島地震のように「地震」ということも加味した訓練にも今後取り組む必要がある。地震が起これば岩滝の道路は寸断され孤立することが心配される。能登半島地震を教訓に対策を考えたい。

避難先については、地震の場合は耐震化されている岩滝小体育館しかない。岩滝小体育館の避難用品をさらに充実させることも必要になる。

▪ 第5回防災会議（11/12岩滝全域防災訓練の反省）から R5. 11. 27

- ・市からの避難指示が無くても、まち協会長・町内会長が避難指示を発令したら、それは「やばい時！」だということを住民に徹底し、真剣に避難行動に移る。

- ・毎年4月に役員交代するので、防災引継ぎをしっかりと行う。

公民館内の防災備品・用品は何がどこにいくつあってどう使うのか。誰がリーダーとなってどのように避難者を受入れるのかということを明確に。

町内での役員の役割分担と仕事内容、動きなどを年度当初によく話し合って決めておく。

- ・「連絡網」を作り直す。ただ紙に印刷して配ればよいというのではなく、徹底する。

避難する際は近所の人にも声をかけて、一人も見捨てないということを皆で確認する。

固定電話ではつながらなかったということがあったので、できるだけ携帯電話も。

- ・ガソリン発電機が作動しないことがよくあるため、定期的に運転して確認する。

4月を「ガソリン交換の月」とする。前年の古くなったガソリンはささゆり号の燃料にするので、4月に岩滝公民館へ提出する。

- ・避難所の受け入れをはじめ運営は、役員だけがやればよいのではなく、避難してきた人にも役割を割り振って協力してもらう。

避難者も、公民館へ行けば「何かしてもらえる」「何かもらえる」という考えは捨てる。

避難するとき自分の食べ物や着るものなど生活用品は、できるだけ自分で持って行く。

- ・誰がリーダーなのか皆によくわかるよう、役員が着るスタッフTシャツを作る。

胸に透明なポケットを作り、「〇〇町町内会長」とか「消防団班長」とか書いた紙を入れられるようにしておく。町内によって色を変えるなどの工夫もする。

- ・避難所どうしの連絡、消防団との連絡などのため、無線機を数台購入する。

- ・岩滝小体育館へ皆が避難してきた場合、「集合場所」とか「〇〇町」とか「受付」とか明示するための旗があると分かりやすい。

- ・防災備品・用品がまだまだ少ない。購入計画を立てて予算化する。

- ・防災訓練への参加者が少ない。もっと呼びかけて参加してもらいたい。

- ・班長は「自分の班を掌握する」ということを確実にする。

▪ 第6回防災会議から R6. 2. 29

- ・成原卓氏講話「能登半島地震から学び活かす」より

地震を想定し、対策を考え、準備していかなければならない。

「じっくり、のんびり、細く、長い歩み」が必要

①ライフラインはどうなる？

- ・道路・電気・上水道・下水道・電話通信・ガス石油等

②外部からの支援は届くか？

- ・土砂崩れ・道路の隆起などで自動車が通れず孤立した場合の対応は

③食事は大丈夫か？

- ・保存食の備蓄　・温かい食事（精神的にも）　・その他衣食住や健康面など

④避難所で寝られるか？

- ・岩滝小体育館に全世帯を収容できるか　・猛暑や厳冬の時期を乗り切れるか

⑤トイレはどうする？

- ・下水道管が破断したら

⑥地震の「揺れ」への対策は？

- ・各家庭での対策が最重要――建物耐震補強工事、家具固定、ガラス飛散防止

⑦これまで取り組んできた「大雨・土砂崩れ」を想定した対策と訓練を活かす。

- ・地震想定をどう訓練に取り入れるか

<講話をもとに話し合ったこと>

- ・能登半島地震の体験談を聞きたい。被災された体験や、救援に携わられた方などの。
- ・震度7とはどんな揺れなのか地震体験車で体験したい。
- ・市の耐震診断を受ける（診断は無料　昭和56年5月31日以前の木造住宅）。

能登半島地震の死者の8割が建物崩壊による圧死だった。

市の「木造住宅耐震改修工事補助金」は、倒壊しにくい耐震強度まで改修する場合180万円までの補助が受けられる。

避難所となる各町内の公民館も耐震診断してもらおう。

- ・避難所での暮らしを想定して、実際に食事を作ってみる練習をする。
- ・避難所で全住民が暮らす場合、防災備品や用品が少ない。計画的に購入する。
- ・来年度は10月上旬に岩滝全域防災訓練を実施する。
- ・TV放映される能登半島地震被災の状況を考えると、真剣に対応を考えねばならないことが多い。「こうするとよかった」という言葉を聞くたびに。

トイレ、風呂、寝床、病気・薬・医療、介護、各個人のプライバシーなど

- ・熊本地震、能登半島地震のような直下型地震は、岩滝地域でも「江名子断層」が通っているため起こる可能性が高いと考えられている。

高山市ハザードマップ（地震対策編）では、もし直下型地震が発生したら岩滝地域は震度7、建物全壊率30%以上とされている。

防災計画の中に地震への対応も加えていく必要がある。「じっくり、のんびり、細く、長い歩み」を

R5 地域活動部事業報告

	事業	項目	期日・内容・参加者等
地 域 活 動 部	運営全般	地域活動部会開催	4/13 6/20 7/26 8/22 10/10 1/15
	① 岩滝地区 連合大運 動会の開 催	9月10日(日)	7/11 運動会打合せ 9/9 前日準備 9/10 運動会、反省会 コロナ禍で地域と学校が合同でできない状態が続いていたが、 ようやく合同で実施できた。
	② スポーツ 大会の開 催	グラウンドゴルフ大会 8/5(土) 19:00 岩滝小運動場	参加者30名(小学生の部6、女性の部5、男子70歳未満9 、男子70歳以上の部10名) 当日は早目にコースを書くなど準備した。賞は順位に見合った 商品券とした。
		ボウリング大会 2月10日(土) 19:00 プレイB	参加者37名(低学年の部6、小中学生の部6、男子の部14 、女子の部11名) 賞は順位に見合った商品券とした。
	③ 敬老祝賀 会の開催	敬老祝賀会開催 11月19日(日) グリーンホテル鳳凰の間	11/2グリーンホテルと打合せ 余興①ささゆり鳳の会 ②千原ひろし一座 参加者は役員・来賓もあわせて63名 今年の敬老対象者数(70歳以上)は、男性51名、女性62 名、合計113名。岩滝住民の3人に一人は70歳以上という 高齢地域となっています。 敬老記念品は、LEDスタンドルーペ、充電式カイロ
<p><反省・申し送り></p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会は、コロナ禍後久しぶりの大会となったが、思ったより参加者が少なかった。賞品は、競技であることとがんばった成果として与えたいとの思いから、順位に見合った商品券とした。 敬老祝賀会の余興について、音が大きくて人との会話が聞こえないとの反省があった。 ささゆり鳳の会の日本舞踊と、もう一つ何か静かなものや短時間のものにするとういかもしれない。 来年度の敬老祝賀会は、グリーンホテルを11/17(日)予約済み。 来年度の事業に「桶岩しめ縄作り」を加える。 			